

平成 30 年度

山形県議会広報・広聴委員会報告書

平成 31 年 3 月 12 日

山形県議会広報・広聴委員会

目 次

1	協議の経過及び結果について（概要）	1
2	平成30年度議会広報・広聴事業実績	4
3	平成31年度議会広報・広聴事業計画	8
4	山形県議会広報・広聴委員会委員名簿	10

(参考資料)

○	平成30年度議場演奏会と議会見学会 参加者アンケートとりまとめ結果について	11
○	平成30年度生徒・学生と県議会議員との意見交換会 の実施状況について	15

1 協議の経過及び結果について（概要）

山形県議会広報・広聴委員会は、県議会の活動状況を広く県民に伝えるとともに、県民の声を広く聴き、県民に県議会を身近に感じてもらうため、7回の委員会を開催した。

委員会では、広報誌の編集やテレビ広報番組の企画、「議場演奏会と議会見学会」、「県議会ギャラリー」、「生徒・学生と県議会議員との意見交換会」の実施方法等について協議を重ねながら、以下のとおり広報・広聴事業を実施したほか、来年度の広報・広聴事業の方針等を検討した。

① 「県議会だより」の発行について

全戸配布の広報誌「県民のあゆみ」との合冊編集としている「県議会だより」については、議会活動の基本的な情報を県民に伝えることを念頭に、年6回発行した。（約40万部／回）

② 「県議会やまがた」の発行について

定例会の質疑と答弁の概要など議会活動の詳細な情報を提供する「県議会やまがた」については、県民に議会に対する理解を深めてもらうことを念頭に、年4回発行した。（3,500部／回）

③ 若者向け広報紙「県議会ナビ」の発行について

若者向け広報紙「県議会ナビ」については、若者が興味を持てるような紙面とすることを念頭に、山形大学の学生の協力を得て、第3号を10月に発行し県内の高校生等に配布した。（4万部）

④ 「議場演奏会と議会見学会」の実施について

3回目となる「議場演奏会と議会見学会」については、県民に県議会を身近に感じてもらう契機となることを念頭に、10月に、予算特別

委員会の傍聴や議場の見学、県議会の仕組みや役割についての説明と併せて、議場における山形交響楽団による演奏会を催した。

なお、参加者アンケートの結果によると、満足度が高く、8割の方が再度の参加を希望している状況であった。

⑤ 「県議会ギャラリー」の提供について

「県議会ギャラリー」については、より多くの県民から県議会へ足を運んでもらう機会を設けるとともに、県民、特に若者に県議会を身近に感じてもらい、県議会に対する理解と関心を深めてもらうことを念頭に、県内の児童・生徒・学生の文化活動の展示スペース「県議会ギャラリー」を提供した。（6回）

⑥ 「県議会ホームページ」について

議会活動の詳細な情報を県民に伝えるため、「県議会ホームページ」において、定例会や常任委員会等の概要、会議録、議会トピックス等を掲載したほか、議会中継を配信した。

⑦ 「県議会テレビ広報番組」の制作について

県広報番組の枠を活用して、県議会の活動状況を広く県民に発信するため、第1回目「連携する県議会！～地方から創るニッポンの未来～」（平成30年9月23日放送）と第2回目「身近な県議会を目指して～この四年間のあゆみ～」（平成31年2月10日放送）を制作し放送した。

⑧ その他の広報

上記以外の広報として、県議会を広く知ってもらうため、県議会議事堂の見学に訪れる県民に「県議会のしおり」を配布し、視覚障がいのある方には点字版の「県議会のしおり」を配布した。

⑨ 「生徒・学生と県議会議員との意見交換会」の開催について

平成27年度の試行を踏まえ、28年度から本格実施している「生徒・

学生と県議会議員との意見交換会」については、若者が県議会を身近に感じ、主権者としての政治参加意識の醸成が図られることを念頭に、8校の高等学校・大学等で開催し、301人の生徒・学生と意見交換を行った。出席した議員数は延べ40人であった。

以上、多岐にわたり県議会の活動に関する広報・広聴の充実に努め、特に、高校生等の若者に県議会を身近に感じてもらい、主権者としての政治参加意識の醸成を図るための取組みを展開してきたところである。

今後とも、「開かれた県議会」という基本目標の下、「身近な県議会」を目指し、議会の活動状況を広く県民に伝え、及び県民の意見を広く聴くための方策について、調査・検討を深めていくことを希望するものである。

なお、来年度は改選期に当たり、他の議会日程等にも配慮しながら、意見交換会等を実施するとともに、引き続き経費の節減に努めながら効果的な広報・広聴事業のあり方を検討する必要があると思われる。

2 平成30年度議会広報・広聴事業実績

1 広報誌等

(1) 「県議会だより」の発行

県民に議会活動の概要を伝えるため、年6回発行し、県広報誌「県民のあゆみ」に合冊して全戸配布（約40万部）した。

号	発行日	主な掲載内容
第66号	平成30年5月1日	平成30年2月定例会の概要
第67号	平成30年7月1日	常任委員会の活動状況
第68号	平成30年9月1日	平成30年6月定例会の概要
第69号	平成30年11月1日	平成30年9月定例会の概要
第70号	平成31年1月1日	決算特別委員会及び地域議員協議会の概要
第71号	平成31年3月1日	平成30年12月定例会の概要

(2) 「県議会やまがた」の発行

県民に議会活動を詳細に伝えるため、定例会ごとに年4回・各3,500部発行し、市町村、県内主要団体、NPO法人、大学・短大等へ配布した。

号	発行月	主な掲載内容
第21号	平成30年5月	平成30年2月定例会の概要
第22号	平成30年8月	平成30年6月定例会の概要
第23号	平成30年11月	平成30年9月定例会の概要
第24号	平成31年2月	平成30年12月定例会の概要

(3) 若者向け広報紙「県議会ナビ」の発行

選挙権年齢が引き下げられたことを踏まえ、有権者となり得る高校生を中心とした若者に県議会を身近に感じてもらい、県議会に対する興味を持ってもらうことを目的として、若者向け広報紙「県議会ナビ」を40,000部発行し、県内の高等学校及び特別支援学校高等部の全生徒・教員に配布したほか、大学・短大等へ配布した。

発行月	主な掲載内容
平成30年10月	山形県の10代投票率全国1位、県議会議員選挙の区割り・定数変更、県議会の概要、議長インタビュー、知事への政策提言、県議会トピックス、生徒・学生との意見交換会の様子

(4) 「県議会のしおり」の配布

議会の役割、活動内容の周知を図るため、「県議会のしおり」を議事堂見学者等に配布した。

また、視覚障がいのある方向けに作成した点字版「県議会のしおり」についても、議事堂見学者への配布や県議会ロビーに備え付けるなどして活用した。

2 議場演奏会と議会見学会

県民に県議会を身近に感じてもらい、県議会に対する理解と関心を深めてもらうことを目的として、「議場演奏会と議会見学会」を開催した。

参加者アンケートの結果によると、満足度が高く、8割の方が再度の参加を希望している状況であった。

(開催概要)

- ・開催日 平成30年10月4日
- ・参加人数 75人
- ・実施内容 予算特別委員会の傍聴、議場見学、県議会の概要説明、議場における山形交響楽団による弦楽合奏の鑑賞

3 県議会ギャラリー

より多くの県民から県議会へ足を運んでもらう機会を設けるとともに、県民、特に若者に県議会を身近に感じてもらい、県議会に対する理解と関心を深めてもらうことを目的として、県内の児童・生徒・学生の文化活動の展示スペース「県議会ギャラリー」を提供した。

展示期間	展示校等
平成30年6月14日 ～7月6日	山形市立第一中学校
平成30年6月14日 ～7月12日	県立村山産業高等学校
平成30年9月21日 ～10月12日	山形大学フリーペーパーサークル「Y-ai! (ヤイ)」
平成30年12月3日 ～12月21日	平成30年度土砂災害防止に関する絵画・作文地方審査入賞作品 平成30年度河川等安全利用に関する絵画入賞作品
平成31年1月17日 ～1月28日	第68回山形県統計グラフコンクール 優秀作品
平成31年3月4日 ～4月3日	白鷹高等専修学校

4 インターネット

(1) 県議会ホームページの運営

定例会・各常任委員会・3特別委員会・議会運営委員会の概要、地域議員協議会の内容など、議会の動きをわかりやすい内容でタイムリーに掲載した。

(2) 議会インターネット中継の配信

県議会のホームページ上で、「本会議」、「予算特別委員会」、「決算特別委員会」の生中継及び録画中継を配信した。

(3) 会議録検索システムによる会議情報の提供

会議録検索システムに「本会議」、「予算特別委員会」、「決算特別委員会」の会議録を登録し、県議会ホームページ上で、会議録の検索、閲覧、印刷、ダウンロードをできるようにした。

(4) ツイッター、フェイスブックの活用

山形県公式ツイッター、フェイスブックを活用し、定例会の日程告知、傍聴案内等の情報を提供した。

5 県議会テレビ広報番組（県政広報番組枠の活用）

(1) YBC「やまがたサンデー5」 15分番組×2回

第1回	連携する県議会！ ～地方から創るニッポンの未来～	平成30年9月23日（日） 17:15～17:30 放映
第2回	身近な県議会を目指して ～この四年間のあゆみ～	平成31年2月10日（日） 17:15～17:30 放映

(2) 県政広報番組を活用した定例会の告知

県政広報番組の告知枠を利用し、各定例会の日程と傍聴案内を行った。

6 総合支庁における議会中継

各総合支庁・地域振興局ロビーにおいて、「本会議」、「予算特別委員会」、「決算特別委員会」の中継を実施した。

7 報道機関（パブリシティ）の活用

生徒・学生との意見交換会、議場演奏会と議会見学会、地域議員協議会の実施等について、県庁記者クラブへ情報を提供した。

8 広聴事業（生徒・学生と県議会議員との意見交換会）

生徒・学生に県議会を身近に感じてもらい、主権者としての政治参加意識の醸成を図ることを目的として、「生徒・学生と県議会議員との意見交換会」を8回開催した。

出席した議員は、正副議長、広報・広聴委員を中心に1校につき5人で延べ40人であり、参加した生徒・学生数は301人であった。

意見交換会では、若者の政治参加だけでなく、議会・議員に関することや県の施策に関することについても意見が交わされた。

(開催概要)

開催日	学校名（所在地）	出席議員数	参加者数
平成30年5月15日	日本大学山形高等学校（山形市）※	5人	26人
平成30年6月14日	鶴岡工業高等専門学校（鶴岡市）	5人	16人
平成30年7月12日	東北公益文科大学（酒田市）	5人	8人
平成30年7月17日	白鷹高等専修学校（白鷹町）	5人	10人
平成30年9月4日	県立米沢東高等学校（米沢市）	5人	16人
平成30年9月6日	県立山形東高等学校（山形市）	5人	82人
平成30年9月10日	鶴岡東高等学校（鶴岡市）	5人	13人
平成30年9月19日	九里学園高等学校（米沢市）	5人	130人

※印の学校は意見交換会を議会棟で開催し、それ以外は各学校で開催した。

(参考) 常任委員会等における関係団体との意見交換会等の状況

常任委員会の県内現地調査等において関係団体との意見交換等を実施した。

常任・特別委員会名	意見交換等の相手方	開催日
総務	農業で住みます芸人	10月18日
文教公安	酒田警察署、酒田市八幡総合支所地域振興課、八幡山岳捜索救助隊及び遊佐町総務課	11月1日
厚生環境	山形市やよい町内会（我が事丸ごと地域推進事業）	9月11日
	各県立病院長	10月29日
	一般社団法人山形県浄化槽工業協会	12月19日
	山形県小規模授産施設・共同作業所連絡協議会	1月24日
	一般社団法人山形県老人クラブ連合会	2月26日
農林水産	温海町森林組合	5月22日
商工労働観光	株式会社DMC天童温泉	5月24日
建設	一般社団法人山形県建設業協会米沢支部	6月4日
未来を担う人材育成対策	公益財団法人山形県体育協会 スポーツ指導員 池田 めぐみ 氏	6月28日
県土強靱化・安全安心対策	地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 理事長 栗谷 義樹 氏	10月11日
産業振興対策・働き方改革	山形大学大学院理工学研究科 教授 田中 陽一郎 氏	10月2日

3 平成31年度議会広報・広聴事業計画

1 広報誌等

(1) 「県議会だより」の発行（県広報誌「県民のあゆみ」との合冊）

項目	「県議会だより」	「県民のあゆみ」
発行回数	年6回掲載 5月号〔2月定例会分〕 7月号〔企画記事〕 9月号〔6月定例会分〕 11月号〔9月定例会分〕 1月号〔企画記事〕 3月号〔12月定例会分〕	年6回 隔月奇数月
ページ数	各号見開き2ページ（1月号は1ページ）	各号16ページ
発行部数	約40万部（全戸配布）	同左

(2) 「県議会やまがた」の発行

項目	「県議会やまがた」
発行回数	年4回（4定例会毎）
ページ数	各号タブロイド版 4ページ
発行部数	3,500部（県内市町村、主要団体、NPO、大学・短大等へ配布）

(3) 若者向け広報紙「県議会ナビ」の発行

項目	若者向け広報紙「県議会ナビ」
発行回数	年1回
ページ数	A4版見開き4ページ
発行部数	4万部（県内高等学校、特別支援学校高等部（全生徒、教員）、大学・短大等へ配布）

(4) パンフレットの配布

議会についての理解や関心を高めるため、「県議会のしおり」等を議事堂見学者等に配布する。

2 議場演奏会と議会見学会

県民に県議会を身近に感じてもらい、県議会に対する理解と関心を深めてもらうことを目的として、「議場演奏会と議会見学会」を開催する。

3 県議会ギャラリー

より多くの県民から県議会へ足を運んでもらう機会を設けるとともに、県民、特に若者に県議会を身近に感じてもらい、県議会に対する理解と関心を深めてもらうことを目的として、県内の児童・生徒・学生の文化活動の展示スペース「県議会ギャラリー」を提供する。

4 インターネット

(1) 山形県議会ホームページの運営

日々の議会情報の発信

議員の紹介、定例会・各常任委員会・3特別委員会・議会運営委員会の概要、地域議員協議会の内容、議会トピックスなど、詳細な議会情報を広く県民に発信する。

(2) 議会インターネット中継の配信

県議会のホームページ上で、「本会議」、「予算特別委員会」、「決算特別委員会」の生中継及び録画中継を配信する。

(3) 会議録検索システムによる会議情報の提供 【平成4年分から】

「本会議」、「予算特別委員会」、「決算特別委員会」の会議録全文については、検索システムにデータを格納し、ホームページから閲覧できるようにする。

(4) フェイスブック、ツイッターの活用

山形県公式フェイスブック、ツイッターを活用し、定例会の日程告知、傍聴案内を行うほか、県議会ホームページの「トピックス」のコーナーの情報等をフェイスブック、ツイッターからも発信する。

5 県議会テレビ広報番組（県政広報番組枠の活用）

県政広報番組枠を活用し、議会広報番組の放映を実施する。

(1) テレビ 県政広報テレビ15分番組による議会活動の紹介

同番組内での各定例会の会期告知等

(2) ラジオ 「地域議員協議会」開催の告知等

6 総合支庁における議会中継

各総合支庁・地域振興局ロビーにおいて、「本会議」、「予算特別委員会」、「決算特別委員会」の実況中継を実施する。

7 報道機関（パブリシティ）、各種広報媒体の活用

報道各社に対し、議会活動の積極的な情報提供を行うほか、県広報推進課所管の広報媒体の活用や市町村等の広報媒体を活用した広報に努める。

8 広聴事業（生徒・学生と県議会議員との意見交換会）

生徒・学生に県議会を身近に感じてもらい、主権者としての政治参加意識の醸成を図るため、引き続き「生徒・学生と県議会議員との意見交換会」を開催する。

山形県議会広報・広聴委員会委員名簿

委員長	小松伸也
副委員長	青木彰榮
委員	関徹
委員	松田敏男
委員	柴田正人
委員	渋谷佳寿美
委員	佐藤聡
委員	能登淳一
委員	矢吹栄修
委員	煤津博士

平成30年度議場演奏会と議会見学会 参加者アンケートとりまとめ結果について

- ◆ 日 時 平成30年10月4日(木) 午前10時00分～12時40分
- ◆ 会 場 山形県議会棟(本会議場、予算特別委員会室、第1委員会室)
- ◆ 参加者 75人(アンケート回答者数 74人)

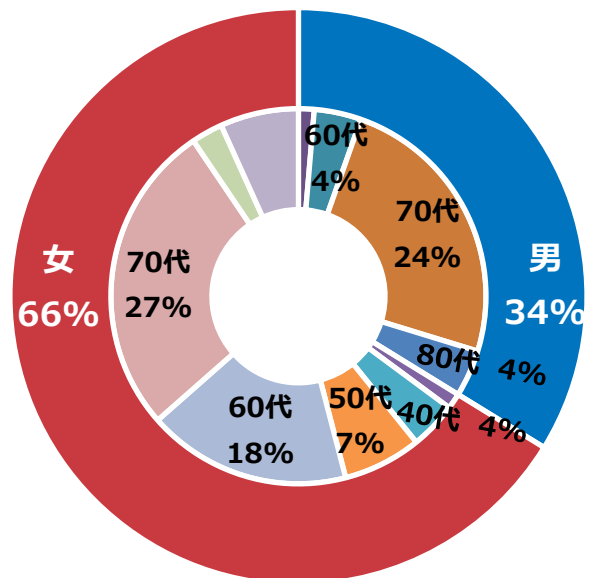
1 住まい

8割が村山地域から参加
(山形市が最多で7割)

市町村名	参加者	
	(人)	(%)
村山地域	57	77.0%
山形市	52	
寒河江市	2	
天童市	1	
東根市	1	
中山町	1	
最上地域	2	2.7%
真室川町	2	
置賜地域	15	20.3%
南陽市	8	
長井市	5	
高畠町	2	
合 計	74	

2 性別・年齢

男女比は1:2
年齢構成は男女とも70代が最も多い



	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	無回答	合 計
男			1	3	18	3			25
女	1	3	5	13	20	2		5	49
合 計	1	3	6	16	38	5	0	5	74

3 何で知ったか(複数回答)

	(人)
新聞	16
ラジオ	0
HP	5
チラシ	8
知人・会社・団体等の紹介	39
その他	11

新聞記事の掲載や、市町村・団体等へのチラシ
送付などで一定の効果が認められた

<チラシを見た場所>

会社・職場、公民館など

※チラシを見たコミセン職員の呼び掛けや市報への掲載などにより、まとまった人数の応募・参加につながった例も見受けられた。

4 参加した理由（複数回答）

8割が県議会に興味があって参加

	(人)	(%)
県議会と山響両方に興味ある	40	54.1%
県議会に興味ある	20	27.0%
山響の演奏聴きたい	10	13.5%
その他	4	5.4%
合計	74	100.0%

5 参加しての感想

(1) 予算特別委員会の傍聴

7割が時間を丁度よいと感じる一方、3割が短いと感じ、また質疑内容が分かりにくいと感じた人などの満足度が十分でなく、満足した人は6割に留まる

時間	(人)	(%)
丁度よい	42	73.7%
短い	15	26.3%
合計	57	100.0%

感想	(人)	(%)
大変満足	7	12.7%
満足	27	49.1%
普通	13	23.6%
やや不満	6	10.9%
不満	2	3.6%
合計	55	100.0%

(2) 議会の概要説明

9割以上が時間を丁度よいと感じ、8割が満足

時間	(人)	(%)
長い	2	2.9%
丁度よい	66	97.1%
合計	68	100.0%

感想	(人)	(%)
大変満足	11	18.3%
満足	35	58.3%
普通	14	23.3%
合計	60	100.0%

(3) 議場の見学

9割が時間を丁度よいと感じ、8割が満足

時間	(人)	(%)
長い	3	4.2%
丁度よい	66	91.7%
短い	3	4.2%
合計	72	100.0%

感想	(人)	(%)
大変満足	12	19.7%
満足	38	62.3%
普通	10	16.4%
やや不満	1	1.6%
合計	61	100.0%

(4) 議場演奏会

7割が時間を丁度よいと感じ、9割が満足

時間	(人)	(%)	感想	(人)	(%)
丁度よい	49	72.1%	大変満足	33	48.5%
短い	19	27.9%	満足	27	39.7%
合計	68	100.0%	普通	5	7.4%
			やや不満	1	1.5%
			不満	2	2.9%
			合計	68	100.0%

6 また参加したいか

8割が再度の参加を希望

	(人)	(%)
参加したい	62	83.8%
演奏会のみ参加したい	12	16.2%
参加したくない	0	0.0%
合計	74	100.0%

7 議場演奏会と議会見学会の感想や県議会に望むこと（自由記述・主なもの）

(1) 感想

① 県議会が身近に感じられた、勉強になった

- ・有意義かつ楽しい一日だった。
- ・なかなか県議会棟に入ることはないが、楽しかった。
- ・少しずつ県議会が身近に感じられ、自分ながらうれしい気持ち。
- ・議場の机、椅子、絨毯、壁に県産のものが使っており、県民の議場、県の技術を大切にしている姿勢があって良かった。
- ・県議会が自分と無関係ではないことを、改めて考えてみたいと思った。
- ・山形県民として、一度は見てみたかった県議会が身近に感じられ、勉強になった。
- ・県議会に興味がありました。

② 今後も実施してほしい、また参加したい

- ・大変ためになった、来年もぜひ参加したい。
- ・県民に親しまれる議会として、今後もこのような機会を設けてほしい。
- ・是非、再度参加したい。楽しい時間に感謝。
- ・機会があれば傍聴したい。

③ その他

<議会見学会>

- ・討議が行われる現場の空気を感じました。県政や議会が決して他人事でも誰かに任せきりにしていいものではないことを実感した。
- ・傍聴の時間もう少し長くしてほしかった。
- ・声が小さく聞きとりにくい。質問、答弁の内容が理解できなかった。
- ・質問、答弁を聴いている議員の態度が真面目だとは受けとれなかった。県政に真剣に取り組んでもらいたい。

<議場演奏会>

- ・演奏会は反響がとても良くてびっくりした。
- ・身が引き締まる雰囲気の中で、山響の演奏を聴くことができ、大変貴重な時間を過ごすことができた。

(2) 県議会に望むこと

① 開かれた県議会への期待

- ・この様な催しに、もっと若い人達がたくさん参加してくれたらいい。
- ・土日議会を開催し、勤務している人も傍聴できるようにしたらよい。
- ・山響のように県議会の皆様にも良いハーモニーで県民を見守ってほしい。
- ・今後は「県議会だより」も良く見るようにしたい。

② 県政に望むこと

- ・若者が増加するような魅力ある県や市町村となるよう、労働環境や就職先の整備をお願いしたい。
- ・今後もこのような機会を設け、議会及び行政への関心を高めていけるよう期待する。

平成30年度 生徒・学生と県議会議員との意見交換会の実施状況について

I 総括

1 実施校

生徒・学生と県議会議員との意見交換会は、平成27年度の試行を踏まえて、28年度から本格実施している。30年度は下記の8校（29年度12校、28年度15校）で実施しており、議員は正副議長、広報・広聴委員を中心に各校5人が出席し、延べ人数で40人、実人数では43議員中27人が意見交換会に出席した。

なお、30年度は、改選前であるため実施期間を9月末までとした。

学校名	開催月日	出席議員数	参加者数	開催場所
日本大学山形高等学校	5月15日（火）	5人	26人	議会棟
鶴岡工業高等専門学校	6月14日（水）	5人	16人	学校（鶴岡市）
東北公益文科大学	7月12日（木）	5人	8人	学校（酒田市）
白鷹高等専修学校	7月17日（火）	5人	10人	学校（白鷹町）
県立米沢東高等学校	9月4日（火）	5人	16人	学校（米沢市）
県立山形東高等学校	9月6日（木）	5人	82人	学校（山形市）
鶴岡東高等学校	9月10日（月）	5人	13人	学校（鶴岡市）
九里学園高等学校	9月19日（水）	5人	130人	学校（米沢市）
8校		40人	301人	
◆校種別内訳	高等学校5校、大学1校、高等専門学校1校、専修学校1校			
◆地域別内訳	村山2校 置賜3校 庄内3校			
◆開催場所内訳	議会棟1校、学校7校			

2 意見交換の概要

議員による山形県議会の概要等の説明の後、若者の政治参加のほか、県の施策等に関することについても意見交換がなされた。

【意見交換の項目（主なもの）】

（1）若者の政治参加について

- ①選挙権年齢の引下げに伴う若年層の政治参加の意義について
- ②若者の意見を政策に反映させる手法について
- ③若者の政治参加が進まない要因について
- ④SNS、キャラクター等を活用した若者の投票率を高めるための取組みについて

など

(2) 県の施策に関することについて

- ①人口が減少する中で、地域を活性化させていくための取組みについて
- ②介護や保育分野の人手不足を解消するための労働環境の改善について
- ③若者の県内回帰・定着を促すための取組みについて
- ④外国人を含めた観光誘客に向けた取組みについて

など

3 アンケート結果の概要

(1) 意見交換会を実施しての感想

意見交換について、議員の考えを直接聞くことができる点で好意的な意見が多く、意見交換会が議会を身近に感じてもらう契機となっていることがうかがわれる。一方、時間配分や概要説明の情報量等については、改善を求める意見もあった。

【感想（主なもの）】

① 議員との意見交換について

- ・県の現状、課題や県議会議員の仕事がわかってよかった。
- ・様々な質問に対してわかりやすく回答いただき、自分達が疑問に感じていることを理解できた。
- ・県議会議員の考えと他の学生の意見を聞くことで視野が広がった。
- ・議員と直接話ができる貴重な時間だった。
- ・時間の都合もあるが、意見交換ではなくただの質疑応答のように感じた（深く掘り下げられなかった。）。

など

② 政治や選挙への関心について

- ・若者の意見が大事であることを知り、積極的に選挙に行こうと思った。
- ・政治への関心が高まった。私たち若者ができることを考えるいい機会になった。
- ・普段聞くことができない意見を聞くことができ、政治に関心を持つことができた。
- ・選挙に行くことの大切さを学ぶことができた。

など

③ 議員に対する印象について

- ・どのような考え、姿勢で仕事をしているかがわかり、身近に感じる事ができた。
- ・県をより良くしようとする姿勢が見て取れた。
- ・回答があいまいな内容に感じた。より具体的に回答してほしい。
- ・質問、意見したことを丁寧に聞いてくれたと思うが、若者が政治に関心がないということだけを訴えられているように感じた。

など

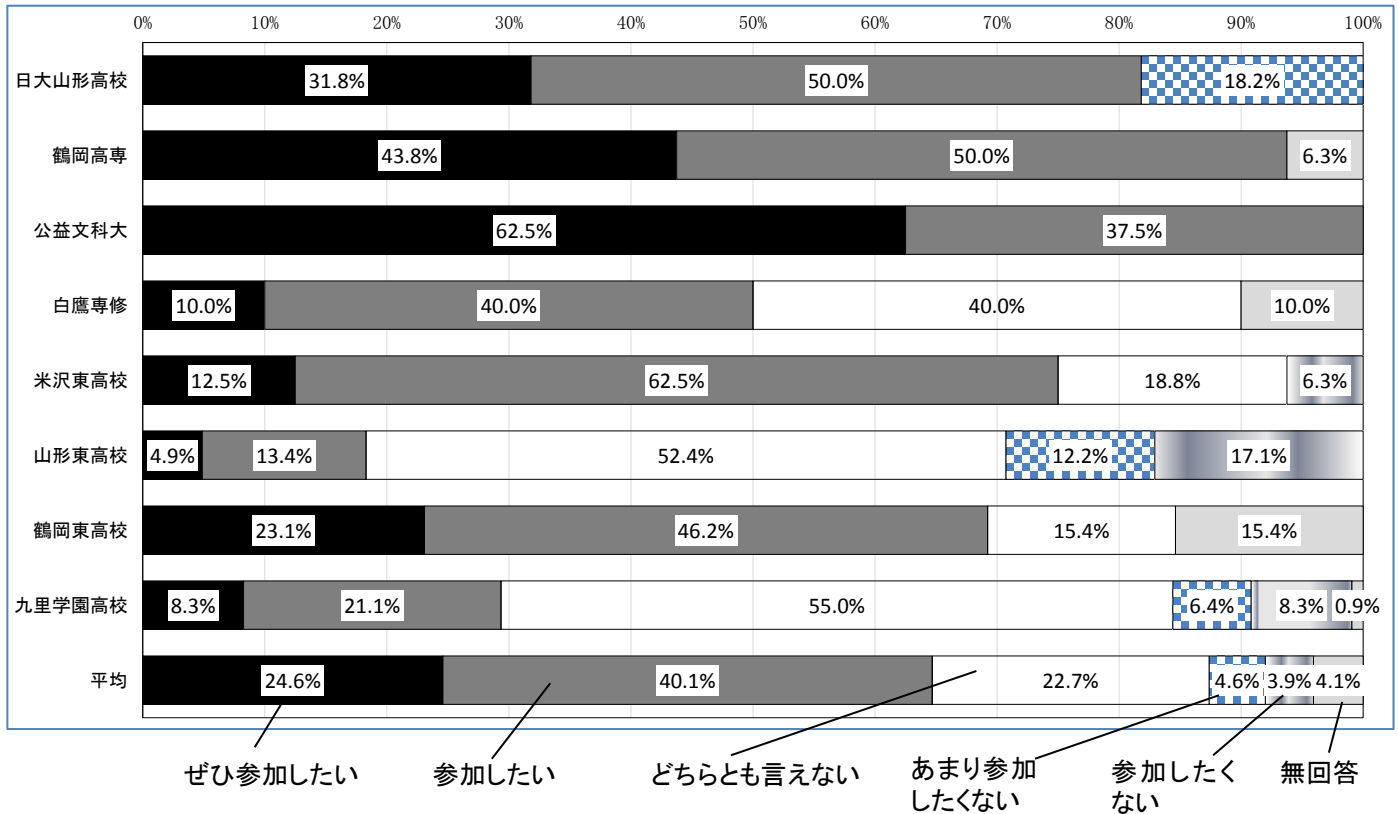
④ その他（議会の概要説明について）

- ・県議会がどのような取組みをしているのかわかりやすかった。
- ・写真等が多く議会の活動をイメージしやすかった。
- ・教科書等と重なる部分は省略するなどもう少し内容を簡潔にしたほうがよい。
- ・説明が駆け足で進んだため、理解できない部分があった。

など

(2) 今後の参加希望について

各校の回答を平均すると、「ぜひ参加したい」、「参加したい」が約65%を占めており、全体として好意的に受け止められている。しかし、学校別に見ると、80名を超える規模で実施した学校（山形東高校、九里学園高校）においては、発言できなかった生徒が多数であったこともあり「どちらとも言えない」が最も多い状態となった。規模に合わせた意見交換会の運営方法を工夫することも必要と考えられる。



(3) 政治への関心を高め、県議会を身近に感じてもらうための提案

意見交換会を拡充する意見のほか、実際に体験する模擬選挙や模擬議会の実施、学校の授業での学習、若者へのPRの強化などの意見が見られる。

若者の声を議員に届けたり、直接議員の声を聞く機会としての意見交換会は、政治への関心を高めたり、県議会を身近に感じたりするための方法として有効であると考えられていることがうかがえる。

①意見交換会の拡充

- ・実施校、時間の増、質疑応答だけでなくグループディスカッションの導入 など

②選挙権年齢前から政治、議会に触れる機会の設定

- ・政治、議会に関する授業の早期実施、議員による出前授業、模擬投票 など

③実際に議会を見る、体感する機会の設定

- ・議会見学会、休日の傍聴、高校生議会の開催 など

④若者へのPRの強化

- ・学校へのポスター、チラシの配布、プロモーション動画の作成 など

Ⅱ 学校ごとの実施状況

1 日本大学山形高等学校

(1) 概要

開催日時	平成 30 年 5 月 15 日 (火) 14 時 00 分～15 時 30 分
開催場所	山形県議会 (第 2 委員会室)
出席議員	志田英紀、島津良平、佐藤昇、青柳安展、関徹
参加生徒	生徒会役員 26 人
意見交換の内容	<ul style="list-style-type: none">・進学等による県外転出者の県内回帰に向けた取組みについて・若者の意見が直接反映された条例や施策について・県内の観光資源の活用と若者の関わり方について・若者が政治に関心を抱くための教育について・フル規格の奥羽・羽越新幹線の整備について・子どもの医療費助成に係る市町村間の格差について・県内における地域医療の格差是正について

(2) アンケート結果

① 意見交換会を実施しての感想 (主なもの)

- ・ 政治への関心が高まった。私たち若者ができることを考えるいい機会になった。
- ・ これからの山形について議論できていい機会だった。
- ・ 議員が若者について考えてくれていることを知り、議会が身近に感じられた。
- ・ 挙手ではなく順番に指名するなどしたほうが多くの生徒が発言できると思う。
- ・ 予め意見交換の話題を複数設定したほうがよい。
- ・ もう少し時間を長くしてほしい。

など

② 生徒・学生等が政治への関心を高めたり、県議会を身近に感じたりするための方法等の提案 (主なもの)

- ・ 他の学校でも同様の意見交換会を開催する。
- ・ イベントや講習会を開催など政治に触れる機会を増やす。
- ・ 教育現場において政治について勉強する機会を増やす。
- ・ 議会見学会を開催する。
- ・ 各学校に P R チラシ等を配布する。

など

2 鶴岡工業高等専門学校

(1) 概要

開催日時	平成30年6月14日(水)16時00分～17時00分
開催場所	鶴岡工業高等専門学校 大会議室
出席議員	小野幸作、能登淳一、小松伸也、榎津博士、森田廣
参加学生	学生会役員16人
意見交換の内容	
<ul style="list-style-type: none">・選挙における18歳、19歳の投票状況について・成人年齢引き下げに伴う政策への影響について・これまでの意見交換会で出された意見の反映状況について・地域の商店街の衰退、空き家問題についてどのように考えるか・若者が投票に行かない要因についてどのように考えるか・未成年の要望やアイデアを議員へ伝える手段にはどのようなものがあるか・若者の投票を増やすためにネット投票が効果的と考えるがどうか・SNSを活用した広報について	

(2) アンケート結果

① 意見交換会に参加しての感想(主なもの)

- ・議会もSNSを活用していることを知ったので広めていきたい。
- ・政治や選挙が身近に感じることができた。
- ・18歳投票率が高いことに驚いた。
- ・若者がもっと選挙に行く必要性を感じた。
- ・普段情報が入手できない県議会や議員の意見を聞くことができてよかった。
- ・自分が政治に参加する必要性を感じた。他の学生にも同様の機会を設けてほしい。
- ・県をよりよくしようとする姿勢がとてもよかった。

など

② 生徒・学生等が政治への関心を高めたり、県議会を身近に感じたりするための方法等の提案(主なもの)

- ・このような意見交換の機会を増やしていく。
- ・SNSの活用、ネット投票の実現
- ・ホームページから議会に意見を伝えられることを周知する
- ・小学生から政治、議会に関する授業等を実施
- ・議員の活動が自分達の生活にどのように反映されているか理解するための機会を増やす。
- ・県議会で話し合った課題、県議会のメールアドレスを掲載した広報紙を配布し、意見を募集する。
- ・学校だけでなく学生寮にも届くよう広報媒体の配布部数を増やす
- ・学校に学生の興味を引くパンフレット、ポスターを配布する。

など

3 東北公益文科大学

(1) 概要

開催日時	平成30年7月12日(木) 11時00分～12時00分
開催場所	東北公益文科大学酒田キャンパス 教育研究棟103教室
出席議員	青柳安展、能登淳一、小松伸也、島津良平、伊藤重成
参加学生	学生8人
意見交換の内容	<ul style="list-style-type: none">・若者に地域への愛着を持ってもらうための方策について・若者の投票率が他の世代よりも低い要因と改善のための方策について・若者への情報発信の手法について・世界と比較して日本の若者の政治参加が進まない要因について・選挙権年齢引下げによる影響について・若者の政治参加を促進させるためには、学校教育等で政治に関わる環境が必要と考えるがどうか・若者の投票率が低いのは、政治家への不信感も要因であり、政治家が頑張っているところを見せること(透明化)が必要と考えるがどうか

(2) アンケート結果

① 意見交換会を実施しての感想(主なもの)

- ・議員がどのような気持ちで活動に取り組んでいるか知ることができ、県議会に興味を持つことができた。
- ・県議会議員の考えと他の学生の意見を聞くことで視野が広がり、いい機会だった。
- ・政治や地域との関わりを身近に感じ、学生にもできることがあることを学んだ。
- ・私達が質問、意見したことを丁寧に聞いてくれたと思うが、若者に政治への関心がないということだけを訴えられている気がした。
- ・少人数の意見交換会のため、全員が参加している雰囲気によかったと思うが、学生の参加しやすさという点では、規模を大きくしたほうがよい。
- ・もう少し時間があれば、具体的に内容を掘り下げることができ、より多くの意見が出てくると考える。 など

② 生徒・学生等が政治への関心を高めたり、県議会を身近に感じたりするための方法等の提案(主なもの)

- ・堅い意見交換会よりも、お茶を飲みながらお話できる形式のほうが気軽に意見を出せると思う。
- ・選挙権年齢よりも前に政治、議員と関わる機会を設ければ関心は高まると思う。
- ・HPやSNSを見ている時点で一定の興味がある人であるため、身近に感じてもらうためには実際に話す機会を設けることが必要。
- ・政治は難しいという固定観念を崩すため、小中学校において政治を分かりやすくする教育の場を設けるとよい。
- ・SNSの活用や交流会の実施。
- ・選挙権年齢に到達する高校を中心に講演会等を開催してはどうか。 など

4 白鷹高等専修学校

(1) 概要

開催日時	平成30年7月17日(火) 13時30分～14時30分
開催場所	白鷹高等専修学校
出席議員	小野幸作、松田敏男、柴田正人、渡辺ゆり子、高橋啓介
参加生徒	生徒会役員10人
意見交換の内容	<ul style="list-style-type: none">・成人年齢の引下げの理由と引下げに対する考えについて・児童虐待を未然に防ぐための対策について・交通事故防止に向けた取組みについて・若者の県内回帰・定着に向けた取組みについて・県議会議員を目指した理由について・単身高齢者を支える地域づくりについて・県の専修学校に対する支援の考え方について

(2) アンケート結果

① 意見交換会を実施しての感想(主なもの)

- ・人口減少対策の質問に対してわかりやすい回答だった。大人になっても県内に残ろうと思った。
- ・分かりにくい回答があった。難しい話は高校生にもわかりやすくしてほしい。
- ・議員が色々考えていることや、どうにかしたいが議員でもできないこともあることがわかり、いい体験をさせてもらった。
- ・若者の意見が大事であることを知り、積極的に選挙に行こうと思った。
- ・もう少し意見交換の時間があったほうがよい。

など

② 生徒・学生等が政治への関心を高めたり、県議会を身近に感じたりするための方法等の提案(主なもの)

- ・このような機会を増やして政治についての理解を深める。身近(地元)な県議と交流するのもよいと思う。
- ・SNSでの呼びかけ、プロモーションアニメを作成する。

など

5 県立米沢東高等学校

(1) 概要

開催日時	平成30年9月4日(火) 13時15分～14時00分
開催場所	米沢東高等学校
出席議員	小野幸作、柴田正人、佐藤聡、鈴木孝、吉村和武
参加生徒	2学年社会系ゼミ選択者16人
意見交換の内容 ・ 県の発展のため今後力を入れるべき産業について ・ 少子高齢化による問題と対策について ・ 医療の地域間格差と医師不足対策について ・ 県外に進学した若者の県内回帰・定着に向けた取組みについて ・ 若者の投票を促進するため、有名人を起用し、SNS等でPRを行うことが効果的と考えるかどうか	

(2) アンケート結果

① 意見交換会を実施しての感想(主なもの)

- ・ 一つの質問に複数の議員に回答してもらうことで、いろいろな視点に立った考え方がわかることがわかり、自分も質問すればよかったと思った。
- ・ もっと生徒に発言する時間を与えてほしい。
- ・ 県の政策を聞くことができ勉強になった。
- ・ 自分が思っていた以上に法律が大切であることがわかった。
- ・ 少子高齢化以外にも県の抱える課題があることがわかった。
- ・ 普段聞くことができない意見を聞くことができ、政治に関心を持つことができた。
- ・ 議員一人ひとりが自分の考えを持っており、自分では思いつかない回答をいただき、新しい発見があった。

など

② 生徒・学生等が政治への関心を高めたり、県議会を身近に感じたりするための方法等の提案(主なもの)

- ・ SNSの普及を進めれば、若者はもっと身近に政治を感じられると思う。
- ・ 各学校に議員が赴き講義(出前授業)を行う。
- ・ 高校生が投票に行く重要性を理解する機会を増やすことが大切だと思った。
- ・ 芸能人を活用して投票をPRすればよいと思う。

など

6 県立山形東高等学校

(1) 概要

開催日時	平成 30 年 9 月 6 日 (木) 13 時 10 分～15 時 00 分
開催場所	山形東高等学校
出席議員	松田敏男、渋間佳寿美、小松伸也、舩山現人、野川政文
参加生徒	探究科 1 学年 82 人
意見交換の内容	<ul style="list-style-type: none">・若者の県内定住に向けた魅力ある企業の育成について・Uターン推進に係る首都圏大学等との連携について・奨学金返還支援事業の利用状況について・人口減少下における医療サービス維持のための取組みについて・農業の第 6 次産業化に向けた県の取組みについて・人口が少ない地域に I T、先端技術等の専門分野を学んだ者の受け皿を増やす政策が必要と考えるがどうか・山形の魅力、観光地の情報発信について・人口減少が進む中で今後県として力を入れていくべき産業について

(2) アンケート結果

① 意見交換会を実施しての感想 (主なもの)

- ・県の現状、課題や県議会議員の仕事がわかってよかった。
- ・議員がどのような考え、姿勢で仕事をしているかがわかり、身近に感じることができた。
- ・時間の都合もあるが、質問の核心に答えないまま次の質問に移る、生徒も遠慮して引き下がるなど意見交換にはなっていない (ただの質疑応答) と感じた。
- ・最後のほうは質問への回答が得られなかったため、時間配分を考えてほしい。
- ・質問の提出がギリギリだったため、生徒、議員両者とも深い話ができていないと感じた。
- ・あいまいな回答が多く、より具体的な回答がほしかった。 など

② 生徒・学生等が政治への関心を高めたり、県議会を身近に感じたりするための方法等の提案 (主なもの)

- ・意見交換会のように政治に触れる機会を増やすべきだと思う。
- ・学校での教育で選挙の重要性を教える機会を増やし、選挙後にその結果を生徒間で意見交換する時間をとる。
- ・高校生に直接関わる話題を取り上げる。
- ・パネルディスカッションなど質疑応答だけでなくコミュニケーションを実施。
- ・各学校における模擬選挙の実施。
- ・議会見学会、休日の傍聴など実際に議会を見る機会を作る。
- ・高校生議会等を開催し、課題について話し合う機会を設ける。
- ・投票日が近くなったら学校内にポスター (投票所の案内付き) を掲示する。
- ・若者にも広く伝わるような具体的施策、広報を行っていく。 など

7 鶴岡東高等学校

(1) 概要

開催日時	平成 30 年 9 月 10 日 (月) 15 時 30 分～16 時 30 分
開催場所	鶴岡東高等学校
出席議員	小野幸作、青木彰榮、矢吹栄修、石黒覚、佐藤藤彌
参加生徒	生徒会役員等 13 人
意見交換の内容 (主なもの)	
<input type="checkbox"/> ひとり親世帯等に向けた就学支援の取組みについて	
<input type="checkbox"/> 県内に大学、短大等を増やし、若者の受け皿を作る必要があると考えるがどうか	
<input type="checkbox"/> 若者の投票率が低い原因とその対策について	
・山形をPRするため、県のマスコットキャラクターと有名漫画家、有名人とのコラボレーションを行うのが効果的と考えるがどうか	
<input type="checkbox"/> 少子高齢社会における県内でのバリアフリー整備の状況について	
<input type="checkbox"/> 若者の県内回帰・定着に向けた取組みについて	
<input type="checkbox"/> 観光誘客を進めるにあたって、地元の間人が山形県の魅力を理解することが必要と考えるがどうか	

(2) アンケート結果

① 意見交換会を実施しての感想 (主なもの)

- ・ 県議会議員の取組み等を知ることができ、政治について関心を持つことができた。
- ・ 新しいものを作るだけでなく、今あるものを自分たちがPRして若者を集めるなど今までと違う見方をすることができた。
- ・ 回答があいまいな内容に感じた。
- ・ 丁寧に回答してもらったが、もう少し時間があればよかった。
- ・ 自分たちの知らないところで様々な工夫をしていることを知ることができた。
- ・ 自分自身が山形のことを知らないと感じた。もっと山形に愛着を持って山形について説明できるようになりたいと思った。 など

② 生徒・学生等が政治への関心を高めたり、県議会を身近に感じたりするための方法等の提案

- ・ 定期的に学校において意見交換会を交えた講話の機械を増やしていけばよいと思う。
- ・ 議会で実際に討議された議題について、学校の授業で話し合う時間をつくれば、若者の視点での意見も出てくると思う。
- ・ 政治に無関心なまま投票することによる自分達への影響、危険性を教える必要があると思う。
- ・ オリンピック等の話題をテーマに県の取組みを学生に話をしていく。
- ・ 学校の全校集会等の場で議員と意見交換会を行う。現代社会等の授業で県議会等を取り上げる時間を作る。
- ・ 教育(現代社会、政治経済等)に盛り込む。
- ・ 多くの学校で議会の活動内容を説明し、模擬投票を行う。 など

8 九里学園高等学校

(1) 概要

開催日時	平成30年9月19日(水)14時15分～15時05分
開催場所	九里学園高等学校
出席議員	小野幸作、青木彰榮、菊池文昭、榎津博士、大内理加
参加生徒	2学年130人
意見交換の内容	
<ul style="list-style-type: none">・県内で大規模災害が発生した場合の県の対応について・外国人観光客の誘客に向けた取組みについて・少子高齢化に伴う小中学校の統廃合について・議員が考える山形県の魅力について・若者に県への愛着を持ってもらうための取組みについて・フル規格新幹線の整備による在来線への影響について・高等学校へのエアコン設置について	

(2) アンケート結果

① 意見交換会を実施しての感想(主なもの)

- ・様々な質問に対してわかりやすく回答いただき、自分達が疑問に感じていることを理解できた。
- ・県の現状について詳しく知ることができてよかった。
- ・質問から話を逸らしていて何を言いたいかわからなかった。
- ・議員と直接話ができる貴重な時間だった。とても良い機会だと思う。
- ・山形県の魅力などをもっと具体的に紹介してほしかった。
- ・選挙に行くことの大切さを学ぶことができた。
- ・議員間で相談せずにもっとスムーズに回答してほしかった。
- ・災害等への対応について話を聞くことができ安心できた。
- ・自分の知識不足もあるが、もう少しわかりやすく説明してほしかった。

など

② 生徒・学生等が政治への関心を高めたり、県議会を身近に感じたりするための方法等の提案(主なもの)

- ・意見交換会のような機会を増やせば、関心を持つ人が増えると思う。
- ・県議会の1日体験等を開催する。
- ・学校へのポスター掲示やSNSの活用。
- ・若者に対して自分達が住んでいる県の情報をより詳しく伝える。
- ・投票所を増やすなどもっと投票しやすい環境を整える。
- ・生徒、学生の身近なところでPR、講演等を行う。

など